

〔江別市〕施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 01 地域福祉の充実

主管課 福祉課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<p>平成22年度国勢調査では、江別市においても人口が減少する結果となった。少子高齢化が顕在化し、単身世帯が増加の傾向にある。平成22年度は第2期江別市地域福祉計画及び第2期地域福祉実践計画の初年度として、地域活動の基盤づくりを市民自らが考え、行政等と一体となって「みんなで支えあつまちぐるみの福祉づくり」を進める施策を展開するものである。</p>	<p>高齢化等により自治会活動等も難しくなりつつあり、人的交流も少なく地域の間関係も希薄になりつつある。安心して地域で生活することができる社会基盤の整備と互いに助け合い支え合う相互扶助の精神の醸成が必要である。</p>

施策の目的

市民・ボランティアなどによる地域福祉活動を活発に行い、地域全体で支えあう仕組みづくりを進めることで、誰もが住みなれた地域で安心して生活できるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者、障がいのある方、地域住民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

地域福祉活動が活発に行われる。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合	%	28.7	33.6	-		↗

施策の達成状況 (22年度)

本事業の成果指標である『市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合』については、平成22年度は未調査であるが、各種福祉施策の実施とともに、平成22年度を初年度とする「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、ボランティア活動等への支援に取り組んできており、『市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合』については、増加傾向にあり、地域全体で支えあう仕組みづくりは進展しているものと思われる。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	173,372	183,382	175,212
事業費(千円)	137,274	148,321	140,184
人件費(千円)	36,098	35,061	35,028

01 福祉意識の向上

基本事業の目的

福祉・ボランティア教育などの啓発活動を充実することで、地域の人が互いに思いやりを持って共に支え、助け合いの意識をつくります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

地域に住む住民が、互いに思いやりを持って、共に支え、助け合う意識を形成する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
福祉ボランティアに参加している、または参加したいと考えている市民割合	%	8.5	10.3	-		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

本事業の成果指標である『福祉ボランティアに参加している、または参加したいと考えている市民割合』については、平成22年度は未調査であるが平成22年度を初年度とする「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、社会福祉協議会との連携のもとボランティア活動等に対する支援に取り組んでおり、『福祉ボランティアに参加している、または参加したいと考えている市民割合』も増加傾向にあり、福祉意識は向上しているともと思われる。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	830	1,612	1,629
事業費(千円)	0	0	0
人件費(千円)	830	1,612	1,629

02 地域福祉活動の推進

基本事業の目的

様々な福祉活動メニューを充実させ、市民や福祉団体が積極的に参加することで地域の福祉活動が活発化します。

対象 (誰を対象とした指標か)

社会福祉協議会、民生・児童委員、福祉ボランティア団体、地域住民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

社会福祉協議会、民生委員の福祉活動が拡大、活発化する。福祉ボランティア団体による支援先が増加する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
福祉ボランティア団体による支援先数	施設等	34	39	41		40
民生・児童委員の対応相談等の件数	件	7,478	6,168	6,360		8,000

基本事業の達成状況 (22年度)

平成22年度を初年度とする「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、社会福祉協議会との連携のもとボランティア活動等に対する支援に取り組んだ結果、福祉意識の向上とともに、ボランティアに参加する市民も増加しており諸活動が活発化していると思われる。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	112,421	118,358	121,420
事業費(千円)	107,441	106,268	112,460
人件費(千円)	4,980	12,090	8,960

03 人材の養成 確保

基本事業の目的

広報活動の活発化などにより各種ボランティアの養成を進め、潜在的福祉のマンパワーを発掘、確保します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、ボランティア

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

各種ボランティアの養成により福祉のマンパワーが期待される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
ボランティア団体数	団体	40	39	41		45
ボランティア団体構成員数	人	1,465	1,533	1,530		1,650

基本事業の達成状況 (22年度)

江別市の人口は減少したが、平成22年度を初年度とする「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、ボランティア活動を支援し、その拡大に取り組んできた結果、ボランティア団体数、構成員数は大きく減少しなかった。今後も引き続き、ボランティア団体の活動を広く周知するとともに、参加しやすい体制を整え、ボランティアの養成を進めていく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	2,877	2,853	2,862
事業費(千円)	2,047	2,047	2,047
人件費(千円)	830	806	815

主要事業一覧(施策別平成22年度予算)

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。人件費B欄は、各事業へ703人(H22.1.1一般職員数)分を振り分けている。
1人当たり平均単価8,328千円は「一般職総額5,871,246千円/705人(H22.4.1一般職員数)」で算出している。

(単位:千円)

政 策 施 策	主 な 事 業	事業費 A	A の 財 源 内 訳					主 な 内 容	人件費 B	総額 A+B
			国	道	市債	その他	一般財源			
03	安心を感じる保健・医療・福祉の充実									
01	地域福祉の充実									
	◎ ボランティア人材養成事業	2,047	1,023	511			513	点訳、手話、朗読、要約筆記奉仕員養成講座の開催(地域生活支援事業)	833	2,880
	○ 民生委員連絡協議会補助金	9,285					9,285	市内9地区の民生委員児童委員協議会間の連絡調整、個々の民生委員の研修等を行う連絡協議会に対する補助	833	10,118
	○ 日赤北海道大会開催経費	1,000					1,000	【新規】赤十字北海道大会開催(H22.8月予定)に係る経費	8,328	9,328
	○ 社会福祉センター大規模改修事業補助金	18,000				14,500	3,500	【新規】社会福祉センターの給排水設備改修への補助	833	18,833

※平成22年度予算金額です。